

## 研究所紀要編集・執筆要綱

2013年 7月 3日 制定

2014年11月 5日 一部改訂

2015年 7月 1日 一部改訂

### I. 編集要綱

#### 1. 紀要の名称

『立教大学コミュニティ福祉研究所紀要』とする。

#### 2. 体裁

B5判横書きとする。

#### 3. 編集

コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会は、編集に関する責任を負う。

#### 4. 原稿の種類

本誌に掲載する原稿の種類は、次の各号に挙げるものとする。

①論文、②研究ノート、③書評、④翻訳、⑤教育研究活動の報告、⑥その他、コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会が掲載を認めたもの

#### 5. 執筆者の資格

1) 本誌の執筆者は、原則としてコミュニティ福祉研究所所員および研究従事者とする。

2) 所員および研究従事者以外の者との共同執筆の場合には、コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会の承認を受けることとする。

3) 大学院生が執筆する場合には、原則として以下の通りとする。

①立教大学コミュニティ福祉学研究所博士前期課程・後期課程の在籍生に限る。

②コミュニティ福祉研究所所員との共同執筆に限る。

### II. 執筆要綱

#### 1. 原稿の種類と制限枚数

掲載原稿の種類を論文、研究ノート、書評、コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会が認

めたものとし、それぞれの分量を次の通りとする。

- 1) 原著論文は、図表を含めて12,000字～20,000字（400字原稿用紙30枚～50枚）とする。  
 なお、外国語原稿（アルファベットなど）の場合は、図表を含めて1ページにつき65 strokes 25lines にてA4判22.5枚～37.5枚とする。
- 2) 研究ノートは、1) に準ずる。
- 3) 翻訳は、1) に準ずる。
- 4) 書評、その他は、2,000字（5枚）程度とする。

## 2. 研究ノート、その他

研究ノート、その他には、研究上の問題提起、内外の動向紹介、研究プロジェクトの経過報告、調査報告、他の著書・論文への批判・反論等を含む。

## 3. 原稿の形式

原稿はすべて横書きとする。

日本語原稿に関しては、A4判用紙に40字×30行で印字したワープロ原稿が望ましい。

## 4. 文体

文体は原則として口語体の「である調」とし、文字は新かなづかい、当用漢字とする。

## 5. 章立て

章節の立て方は、原則として次の通りとする。

- 1) 章に当たるもの I. II. III. (ローマ数字)
- 2) 節に当たるもの 1. 2. 3. (算用数字)
- 3) 項に当たるもの 1) 2) 3) (算用数字、半角)
- 4) 以下、① ② ③

## 6. 注

注は脚注とせず文末にまとめることとする。

本文中の注番号は、該当箇所の右肩に (1) (2) (3) (半角) で表示する。

## 7. 参考文献

参考文献は論文の最後に列挙することとする。

表記の方法は原則として以下の通りとする。

尾崎 新 (1999) 『「ゆらぐ」 ことのできる力』誠信書房。

岡田 徹 (2005) 「コミュニティ福祉学とは何か」岡田徹・高橋紘士編『コミュニティ

福祉学入門』有斐閣。

橋本正明 (2002) 「介護保険 いくつかの視点からの現状評価」『コミュニティ福祉学部紀要』第4号, pp.3-18。

Kendall, Jeremy (2003) *The Voluntary Sector*. London: Routledge.

Lewis, J. (2004) "What is new labour? can it deliver on social policy?" in *Welfare State Change: Towards a Third Way?*, edited by J. Lewis and R. Surender. Oxford: Oxford University Press.

Archambault, E. (2001) "Historical roots of the nonprofit sector in France", *Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly*, vol.30, no.2, pp.204-220.

インターネット掲載ページの場合は、そのページのタイトル、URL、および最終確認日を明記する。

(例) United Nations (2010) *Human Development Report 2010*,

<http://hdr.undp.org/en/reports/global/hdr2010/> (2010年4月7日)

## 8. 引用方法

本文または注においてほかの文献の記述を引用する、または参照する場合は、その出典の記載は原則として以下の通りとする。

[尾崎 (1999), p.124] ; [Kendall (2003), p.26]

ただし、前後関係から判断して [ ] を必要としない場合は省いてよい。

(例 注において) (5) 尾崎 新 (1999) p.124。

(例 本文において) ……と思われる。ところで、Kendall (2003) によれば……。

## 9. 図・表

図・表は図1、表1のように記入し、原稿に挿入すべき場所を指定し、また別の用紙に図・表を添付すること。

図・表を他の著作物から転載する場合には、出典を図・表の下に明示すること。

なお複雑な図表や写真が多い場合、コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会の審議により、執筆者が実費を負担することがある。

## 10. 英文要約

原著論文には英文またはその他の外国語のタイトル、および要約（原則として、英文200語以内）を添付すること。

## 11. キーワード

原著論文には、英文要約の下に、内容を表す英語のkey wordを3～5個程度付けること。

## 12. 投稿の申し込み

執筆者は、所定の申込用紙に執筆者名、題目、原稿予定枚数、図表数、希望抜刷数等を記入し、所定の期日までにコミュニティ福祉研究所紀要編集委員会へ提出すること。

## 13. 原稿の提出方法

原稿は紙媒体のものとデジタルの両方を、コミュニティ福祉研究所紀要編集委員会へ提出すること。

デジタルデータは、原則として電子メールに添付する方法で提出する。

## 14. 著作権の帰属

本紀要に掲載された論文、抄録の著作権は〈立教大学コミュニティ福祉研究所〉に帰属する。ただし、著者が著者自身の研究・教育活動に使用する際は、許可なく使用することができるものとする。

## 15. Web上での公開

掲載された著作物については、立教大学学術リポジトリ (<https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/>) に登録し、公開する。

本要綱は、2013年7月3日、立教大学コミュニティ福祉研究所運営委員会によって決定された。

2014年11月5日、立教大学コミュニティ福祉研究所運営委員会の審議を経て、一部を改訂した。

2015年7月1日、立教大学コミュニティ福祉研究所運営委員会の審議を経て、一部を改訂した。